

## 財務省行政事業レビュー（外部有識者会合）議事概要

---

1 日 時：令和4年6月16日（木）13：22～16：45

2 場 所：財務省第1会議室

3 出席者

財務省選任外部有識者（敬称略、五十音順）

尾花 真理子（弁護士：モリソン・フォースター法律事務所）

梶川 融（公認会計士：太陽有限責任監査法人代表社員会長）

持永 勇一（公認会計士：EY新日本有限責任監査法人パートナー）

財務省

山根 大臣官房審議官、山本 大臣官房会計課会計調査官、

木村 理財局国有財産調整課長、吉田 主計局給与共済課長、

山本 主計局調査課財政調査官、米山 関税局監視課長、

田部 国際局開発機関課長ほか

4 議事次第

(1) 開会

(2) 外部有識者会合による対象事業の点検

【点検対象事業】

- ① 特定国有財産の整備（一般会計）
- ② 特定国有財産の整備（財政投融资特別会計特定国有財産整備勘定）
- ③ 旅費等実態調査
- ④ 国家公務員共済組合連合会等助成費
- ⑤ 財政制度等に関する調査
- ⑥ X線検査装置整備等経費
- ⑦ アジア開発銀行等拠出金<19事業>
- ⑧ 米州投資公社出資金

(3) 閉会

---

〔議事概要〕

- 点検対象事業について、各担当課長等から事業概要説明
- 外部有識者による点検（質疑・議論）
- 外部有識者からのコメント及び外部有識者の所見

外部有識者からのコメントを踏まえ、「外部有識者の所見」として以下のとおり、とりまとめた。

① 特定国有財産の整備（一般会計）

**外部有識者からのコメント**

- ・ 特定国有財産整備計画は、毎年、関係部署による情報収集・検討により見直しを、

図られており、重要性・緊急性の高いものだけに限り策定・実施されている。

- ・ 計画の実施にあたっては、所定の指針に従い、P F I 事業の活用が検討されており、一者応札の改善、対象地の現状に応じ、柔軟に工法を選択すること等により、コスト削減に向けた取組が行われている。
- ・ 今後も、情勢の変化に応じ、同計画を見直し、一者応札をなくす等の計画実施方法が改善されるよう努めていただきたい。
- ・ 国有財産の保有・活用の全体像について分かりやすく国民に向かって説明していくとともに、機会収益を含む、経済性を考慮した上で重要性・緊急性を検討してほしい。
- ・ 一者応札については、引き続き改善に努めてほしい。

#### 外部有識者の所見

特定国有財産整備計画の策定にあたっては、国有財産の保有・活用などの機会収益を含む経済性を考慮した上で、重要性・緊急性を検討すること。

計画の実施にあたっては、P F I 事業の活用などによるコスト削減の取組が行われている。引き続き、情勢の変化に応じ計画を見直すとともに、一者応札の改善に努めること。

### ② 特定国有財産の整備（財政投融资特別会計特定国有財産整備勘定）

#### 外部有識者からのコメント

- ・ 未完了事業について、事業の進捗状況が公開され、かつ、事業の調達の際に一者応札を改善する試みが講じられる等事業の実施における透明性の確保に努めている。
- ・ 未了事業について、予定された整備費及び回収額による過不足額による実施状況の進捗（一般会計への返納等）の透明性を確保していることは望ましいことと思います。

#### 外部有識者の所見

未完了事業について事業の進捗状況が公開されるなど、実施状況の透明性が確保されている。

### ③ 旅費等実態調査

#### 外部有識者からのコメント

- ・ 当該調査については、調査の必要性は明確であり、職員自らが実施困難かつ真に必要な調査内容となっている。
- ・ 調査内容は、事務効率化等を図るためのものとなっているが、日本と諸外国の事情の違い、国家公務員と民間の活動の性質の相違、現在の国家公務員の旅費精算のシステムへの導入の容易さ等に鑑み、調査結果を一層有効に活用していただきたい。
- ・ 調査の必要性は認められるもので、事務効率化にも益するものと考えられる。

- ・ 今後の業務効率の改善に有用な調査を継続してほしい。
- ・ 旅費制度見直しを行うため、一般競争入札による方式により契約が行われており、適切な手続きで行われていると認められる。
- ・ 調査結果を踏まえ、合理的な制度設計につなげてほしい。

#### 外部有識者の所見

調達にあたっては、一般競争入札を実施するなど適切な手続きが実施されている。諸外国との事情の違いや民間企業との相違点など、調査結果を有効に活用することにより、合理的な制度設計を行うこと。

### ④ 国家公務員共済組合連合会等助成費

#### 外部有識者からのコメント

- ・ 国庫返納額の減少を図る取組が実施されており、この結果、業務効率化が図られている。
- ・ 特定健康診査等交付事業について、受診率の向上のための種々の取組が行われている。
- ・ 受診率の高い支部で採用された取組を他支部にも共有する等により、向上の取組を進めていただきたい。
- ・ 事業全体としては、執行実態は適切なものと思われる。
- ・ 特定健康診査等事業は、コロナ禍もあり実施率が伸び悩んでいるが、現在の取組も含め今後も指導に努めてほしい。
- ・ 本事業の9割強が年金給付費等の義務的費用が占めており、それ以外では特定健康診査等、ごく一部であるとの認識の下、現在、執行状況を踏まえた効率化の見直しが行われている。
- ・ 今後も継続的に実態に合致した効率化の推進が望まれる。

#### 外部有識者の所見

本事業については、執行状況を踏まえた効率化の見直しが行われている。今後も実態に合致した効率化の推進に努めること。

特定健康診査等交付事業については、受診率が向上した取組を共済組合間で共有することにより、更なる受診率の向上に取り組むこと。

### ⑤ 財政制度等に関する調査

#### 外部有識者からのコメント

- ・ 本事業は、制度官庁の要求を精査するために必要な客観的・中立的な情報を取得するもので、制度官庁ではなく、財務省が当該調査を行う必要がある。
- ・ 令和3年度の予算を執行しなかった理由は合理的であると考えられる。
- ・ 具体的な調査内容は未だ未定であり、今後真に必要な内容（時期）に限り執行してほしい。

- ・ 財政健全化は極めて重要な課題であるだけに本調査も効果的な予算執行となるように努めてほしい。
- ・ 財政健全化を進めるにあたり、財政制度等審議会の事務局として必要な調査を機動的に行う必要性は理解できる。
- ・ コロナ禍における入国規制等で執行されなかったことも納得できた。
- ・ 財政健全化は、非常に重要なテーマであり、その議論をより良い方向に導くために有用な調査を行ってほしい。

#### 外部有識者の所見

財政健全化は重要なテーマであることから、効果的な調査を行うこと。  
具体的な調査内容については、真に必要な内容に限定して行うこと。

### ⑥ X線検査装置整備等経費

#### 外部有識者からのコメント

- ・ X線検査装置及び不正薬物・爆発物探知装置を活用した取締りは、成果を上げていると考える。密輸の現状を日々分析し装置の配備が計画されており、装置を活用した取締りは、効果的・効率的に行われていると思われる。
- ・ 一者応札となった事業の調達経過を分析して、手続の改善に努めていただきたい。
- ・ X線検査装置及び不正薬物・爆発物探知装置は、適正な予防保全がなされている。法定耐用年数にとらわれずにライフサイクルコストを削減することを目的として計画的かつ効率的な更新を検討していただきたい。
- ・ 不正薬物の摘発に関して当該機器は有効に機能していると思われる。
- ・ 機器の購入について、一者応札の改善に今後も努めてほしい。
- ・ 安全・安心な国民生活を守るために、不正薬物等を水際で取り締まる本事業の価値は非常に高く、今後も取締りの強化が望まれる。
- ・ 機器の予防保全を含め、柔軟な耐用年数の設定により、計画的・効率的な機器の運用・更新が行われていると考えるが、貨物量の変動状況等も踏まえ継続的に見直しを行ってほしい。

#### 外部有識者の所見

X線検査装置及び不正薬物・爆発物探知装置は、密輸の現状を分析し計画的に配備されており、装置を活用した取締りは、効果的・効率的に行われている。

適正な予防保全を含め、柔軟な耐用年数の設定により、計画的かつ効率的な機器の運用・更新が行われている。引き続き、貨物量の変動状況等も踏まえて見直しを行うこと。

一者応札になった案件の調達経過を分析することにより、一者応札の改善に努めること。

### ⑦ アジア開発銀行等拠出金<19事業>

#### 外部有識者からのコメント

- ・ 本基金を通じた支援について、日本が重視する開発分野と統合的なものとなっていると思われる。
- ・ P D C Aサイクルが適切に実施され、一定の事業については事業完了後もサステナビリティの観点等から独立評価局等の内部の機関によるフォローアップ調査もなされており、事業完了後も効果が持続することを確保することは非常に重要と考えるので、継続してモニターし、問題点があれば改善していただきたい。
- ・ 各種事業の内容、活動実績、成果実績について、現在検討されている情報発信も含め、今後広報機能を強化してほしい。
- ・ J I C Aとの連携等も含め、外交政策の全体像の中での役割、貢献について国内外への発信は重要と思われる。
- ・ 本基金を通じた支援は、P D C Aサイクルの仕組みに従い適切に運用されていると認められる。
- ・ 特にP D C Aサイクルにおける要改善点等の協議の実施、独立評価局の設置・運用は素晴らしい取組であると考えます。
- ・ このP D C Aサイクルの運用について、対外公表を行うことにより情報の透明性を高められることを期待する。

#### 外部有識者の所見

各国際機関への拠出にあたっては、各事業のP D C Aサイクルの仕組みに従い適切に運用されている。事業完了後も効果が持続することが重要であるため、継続してモニターすることで問題点があれば改善すること。

各事業の活動内容及び外交政策の役割、貢献について、国内外への発信は重要であることから、広報機能の強化に努めること。

### ⑧ 米州投資公社出資金

#### 外部有識者からのコメント

- ・ I I Cにおける事業は、日本が重視する開発分野における民間プロジェクトへの投融資や技術支援となっていると思われる。
- ・ I I Cにおける事業は、P D C Aサイクルが適切に実施され評価されている。
- ・ 各種事業の内容、活動実績、成果実績について、現在検討されている情報発信も含め、今後広報機能を強化してほしい。
- ・ J I C Aとの連携等も含め、外交政策の全体像の中での役割、貢献について国内外への発信は重要と思われる。
- ・ 地域性もあるが日本国内で当該機関の事業内容、日本の貢献がより理解されるように努力してほしい。
- ・ P D C Aサイクルは実質的に実施されていると思うがサイクルには評価内容の広報理解が重要と思われる。
- ・ I I Cにおける事業は、P D C Aサイクルにおける協議によって、日本が重視する開発分野に対する投融資や技術支援に結びついていると考える。

#### 外部有識者の所見

米州投資公社（IIC）における事業は、PDCAサイクルにおける協議によって、日本が重視する開発分野に対する投融資及び技術支援に結びついている。

各事業の活動内容及び外交政策の役割、貢献について、国内外への発信は重要であることから、広報機能の強化に努めること。

（以 上）